

信頼こそ、
私たちの資産。

Amundi
ASSET MANAGEMENT
アムンディ アセットマネジメント

アムンディ・マーケットレポート

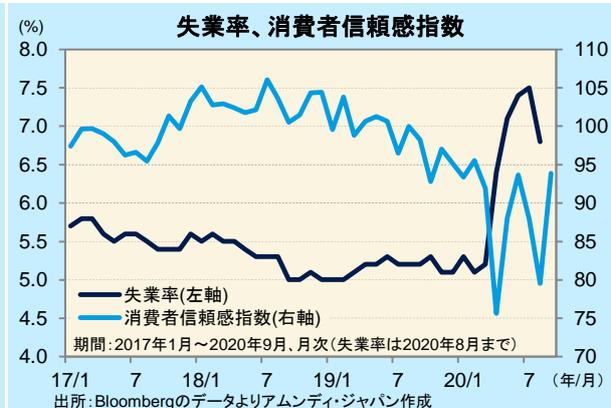
豪州の金融政策(10月)～当面の豪ドル相場は？

- ① 政策金利、3年金利誘導水準を0.25%で据え置きでした。利下げ期待で3年金利がやや低下しています。
- ② 雇用環境改善が鮮明化し、新型コロナウイルス感染再拡大で揺れた消費マインドも再び改善しています。
- ③ 豪ドル相場は、リスク回避指向が強まり反落も、景気回復方向変わらず、次第に底堅くなると考えます。

内需の先行きに明るさ

本日、オーストラリア(豪州)準備銀行(Reserve Bank of Australia、以下、RBA)が定例理事会を開き、政策金利(オフィシャル・キャッシュ・レート、OCR)と3年金利の誘導水準を0.25%に据え置きました。市場では利下げ期待が強まり、3年金利は0.2%を割り込んでいました。債券の累積購入額は633億豪ドル、うち国債は522億豪ドルで、現在の中長期国債発行残高(約7500豪ドル)の7%程度になります。また、貸出残高の5%を上限とする期日物資金供給は800億豪ドルを超えました。期限は2021年6月までで、銀行はさらに1200億豪ドルの資金を調達できます。

金融緩和が続けられる中、豪州では雇用環境の改善が鮮明化してきました。8月の失業率は6.8%と大きく低下しました。コロナ禍の中、雇用者数は907万人減少しましたが、8月時点でそのうち482万人を回復しました。また、消費者信頼感指数が改善しています。新型コロナウイルスの感染が再拡大した影響から7、8月と急落しましたが、現在はほぼ沈静化しており、9月は急速に改善しました。企業の景況感も、夏場にもたつきましたが、足元は再び改善しています。



豪ドルは目先は神経質な局面も

豪ドル相場は、米国株の急落をきっかけに市場のリスク回避指向が強まり、9月は反落しました。ただし、下旬以降は反発しています。景気回復傾向の鮮明化に加え、波乱を巻き起こした米国市場も落ち着いてきたためと見られます。

世界的には、米国大統領選挙の行方が当面の不透明要因で、リスク資産価格に対する抑制要因になると見られます。目先は神経質な局面も考えられますが、景気回復方向は変わらないと見込まれ、次第に底堅い展開になっていくと考えています。



本資料のご利用に当たっての注意事項等

本資料は、アムンディ・ジャパン株式会社が投資家の皆さまに情報提供を行う目的で作成したものです。

本資料は、本資料に含まれるいかなる金融商品の販売や媒介を意図、または購入あるいは売却を勧誘する目的で作成されたものではありません。

本資料は法令に基づく開示資料ではありません。

投資信託に係る費用について

投資信託では、一般的に次の手数料・費用をご負担いただきます。その料率は投資信託によって異なります。さらに、下記以外の手数料・費用をご負担いただく場合、一部の手数料・費用をご負担いただかない場合もあります。詳細は、投資信託説明書(交付目論見書)・契約締結前交付書面をご覧ください。または、販売会社へお問い合わせください(カッコ内には、アムンディ・ジャパン株式会社が設定・運用する公募投資信託のうち、最も高い料率を記載しています。)

投資信託の購入時: 購入時手数料[最高料率3.85%(税込)]

投資信託の換金時: 信託財産留保額[最高料率0.3%]

投資信託の保有時: 運用管理費用(信託報酬)[実質最高料率2.254%(税込)]、監査費用

運用管理費用(信託報酬)、監査費用は、信託財産の中から日々控除され、間接的に投資者の負担となります。その他に有価証券売買時の売買委託手数料、外貨建資産の保管費用、信託財産における租税費用等を間接的にご負担いただきます。また、他の投資信託へ投資する投資信託の場合には、当該投資信託において上記の手数料・費用が掛かることがあります。

※上記の費用の合計額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することはできません。

本資料は、特定のお客様の特定の投資目的および財務状況または要望を考慮して作成されたものではありません。

本資料に記載した弊社の見通し、予測、意見等(以下、見通し等)は、本資料作成日現在のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。また、見通し等や過去の運用実績を含むいかなる内容も、将来の投資収益等を示唆または保証するものではありません。

本資料は、信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性、完全性について保証するものではありません。

本資料に記載されている内容は、全て本資料作成日以前のものであり、今後予告なしに変更される可能性があります。

弊社は、本資料に含まれる情報から生じるいかなる責務(直接的、間接的を問わず)を負うものではありません。

弊社の許可なく、本資料を複製または再配布することはできません。

リスクについて

- 金融商品等の投資にあたっては、市場動向等、また投資信託等へ投資する場合にはその裏づけとなっている金融商品等の価格が変動することによって損失が生じるおそれがあります。
- 金融商品等の発行者または保証会社等の業務や財産の状況に変化が生じた場合や、裏付け資産の発行者または保証会社の業務や財産の状況に変化が生じた場合、金融商品等の価格が変動することによって損失が生じるおそれがあります。
- デリバティブ取引においては、預託した証拠金を担保として、証拠金を上回る多額の取引を行うことがありますので、相場の変動の要因等により生じた損失の額が証拠金の額を上回る(元本超過損が生じる)ことがあります。

投資した資産価値の減少を含むリスクは、投資信託を購入のお客様が負うこととなります。

投資信託は預金、保険ではなく、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関を通じて購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の保護の対象とはなりません。

お申込みの際は、投資信託説明書(交付目論見書)・目論見書補完書面等をお渡しますので、必ず内容をご確認のうえご自身でご判断ください。

販売会社店頭にて投資信託説明書(交付目論見書)をご用意しております。

投資信託のお取引に関しては、クーリング・オフの適用はありません。

アムンディ・ジャパン株式会社

金融商品取引業者: 関東財務局長(金商)第350号

加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会、

一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

<MR2010006>